４月のおたより

「ＫＨＪ」(全国ひきこもり家族会連合会)」は､「Kazoku－Hikikomori－Japan」(家族・ひきこもり・Japan)の略称です。しかし以前のＫＨＪの略称は違っていました。2001 年（平成 13 年）全国親の会発足に際してマスコミは、「全国引きこもりＫＨＪ（強迫性神経障害・被害妄想・人格障害※）親の会発足」と報道しています。つまり当初の「ＫＨＪ」は三つの障害の頭文字を意味していて、当時ひきこもりはこれらの精神障害が原因とみられていたのです。

その後、時を経て「社会的ひきこもり」という言い方が広まり、その定義も「精神障害がその第一の原因とは考えにくいもの」とされました。さらに本年初頭に厚労省は新たな支援者向けの指針（「ひきこもり支援ハンドブック」～寄り添うための羅針盤～）を示しました。その内容を一言でいえば「本人の多様性を認めつつケアを目指す」ということのようです。

先ごろＫＨＪは４月１日をもって全理事が交代し新生組織として出発しました。また､これまでＫＨＪが発行してきた季刊誌「たびだち」も組織の再編成に伴い、いったん廃刊し新しい冊子「SHIP!」として生まれ変わることになりました。

私たち家族会も心機一転､新たな時代の波に挑戦していきます。　　（K）

※2008 年に日本精神神経学会は「人格障害は人格否定の印象がある」とし、病名を「パーソナリティ障害」に変更している。

＜4 月度学習会内容＞

・日時：4 月 26 日（土）13：30～

・会場：新設　あわの風「open 暖話室」（館山市北条 1170-3）

テーマ　**”君には無限の可能性がある”**

副題　～「来れない人が困っているんです」からの出発～

講師：礒辺　雅志　先生　　みつばちダイバーアカデミー”みんなの学び場”主宰

・大学では農学部で従来の農業の改良・普及を志す。
・大学卒業後、『松戸つくし養護学校（現在のつくし特別支援学校）』の教員となり、以後 37 年間、障害のある子ども達の教育や教育行政に携わる。
・教員退職後は、淑徳大学で 2 年間、教員をめざす学生達の教育に携わる。
並行して、障害者支援事業所『みつばちワーク』で福祉について学ぶ。
・2022 年、自立し社会参加していく過程の多様な人々の「居場所」「学びの場」「働く場」となる新たな仕組として『みつばちダイバーアカデミー”みんなの学び場”』を開校（開講）し 3 年目を迎える。

・終了後グループミーティングを行います（お話を聞くだけでも OK）　　16：30 終了予定

※ご参加は無料、ご予約不要、入退室も自由ですのでお気軽にお越しください。

<お問合せ先>　〒294-0045 千葉県館山市北条 1170-3　NPO 法人あわの風　代表　加藤峰生
☎0470-29-3840　携帯 090-2335-1338　e-mail：contact@awanokaze.org